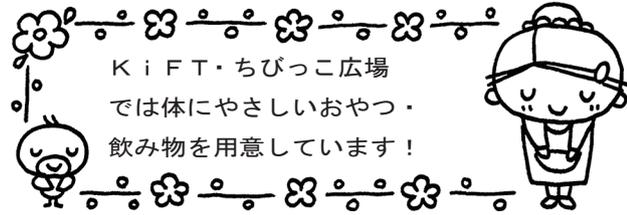


応援します。なかよし親子

Come Come



K i F T・ちびっこ広場
では体にやさしいおやつ・
飲み物を用意しています！

2021年11月号

子育てに必要なのは「甘えさせる勇氣」です！

子どもが「甘え」を見せたとき、それを全面的に受け入れる勇氣がありますか？
「わがままな子になってしまうのでは？」



「自分で自分のことができない子になるかも・・・」といった迷いから、かえって厳しくしてしまうことはないでしょうか。子どもの甘えは、下の子の出現によるきょうだい関係の変化、友達とのトラブルによる自信喪失など、気持ちが不安定になっているときのサインでもあるのです。

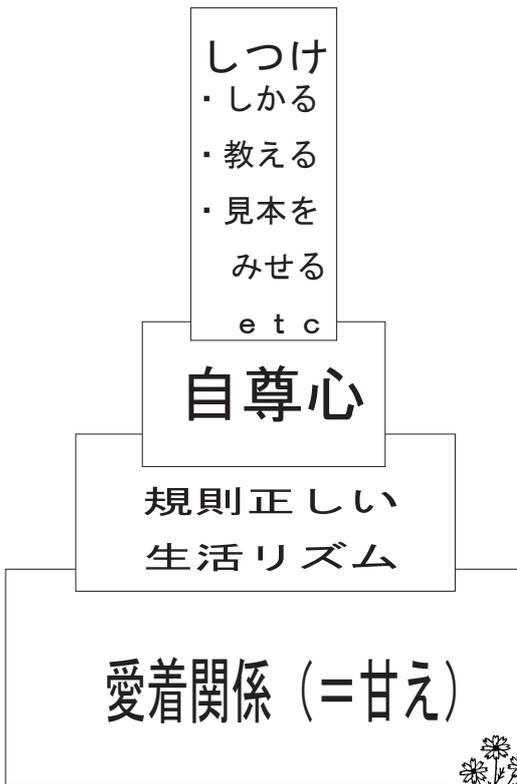
→自立をするために、子どもは甘えとわがままを繰り返します。お母さんや周りの大人たちに甘えやわがままを受け入れてもらうことで、子どもは自分に自信をもてるようになり、それが自立を促す力になります。甘えは依存、わがままでは反抗です。幼少期に依存と反抗を受け入れられる経験があればあるほど、早く自立して、思いやりのある人間に育ちます。

しつけよりも、甘えが先！

「しつけ」と「甘え」。どちらを優先するかで、悩むママは多いかもしれませんが、子育ての土台となるのは、「甘え」。子どもの心は、親子の愛着関係（甘えを受容される関係）を基礎に、「しつけを受け入れられる土台」を築いていきます。

子どもの甘えを受け止めるときの、3つのポイント！

- 1) 共感的に受け止める
「甘えてくるのもしかたないよね」とまずママが共感的であること。この前提がない限り、子どもは決して、親の方を向いてはくれません。
- 2) 子どもの発達を理解する
3歳以前の子どもは、一方的に甘えをぶつけてくる存在。親子の愛着関係が安定してくる3歳頃を目安に相手に応じて少し自分をコントロールできるようになります。子どもの発達状況を観察し、ときには「ダメなものはダメ」と毅然と伝えます。
- 3) 子どもの都合に寄り添って
妙に機嫌が悪い。普段は我慢できるのに・・・など、いつもと違うというときは、お友達とのトラブルや体調不良等、非日常的な理由を抱えていることがあります。非日常での甘えは、いつも以上に厄介。それは、親に不安定な気持ちを受け止めてもらうために必要な甘えです。「約束でしょ！」と突き放すのではなく、「今日はどうしたの？」と受け止め、親の都合ではなく、子どもの都合に寄り添って下さい。



[エデュ参考]

ゆうゆうK i F T (児童クラブ解放日)のお知らせ

ゆうゆうクラブのお部屋を利用し、奇数月の第3金曜日に行います。
親子でクッキングをしたり、お子さんを保育士に預けて、ママたちのための趣味の講座を開いたりします。予約制になりますので、詳しくはスタッフまで。

11月の解放日… 19日 (金)	10:00 ~ 11:30	手作りおやつ教室
12月の解放日… 17日 (金)	10:00 ~ 11:30	ハーバリウム教室

